

東の低空で月が土星、火星に接近



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。梅雨末期で、天候が不順でくっきり晴れた星空は望めませんが、もうこの頃には梅雨が明けていることに期待しましょう。

指導員コラム(天体情報・見どころ)

7月の星空情報の第1弾は7月8日(水)～12日(日)に東の低空で月が土星と火星に接近するという天文現象です。

7月の日の出前の東の低い空には火星(1.3等級)が、比較的高い空には土星(0.7等級)が輝いています。土星は、明るい星の少ない秋の星座の領域にあるので、見つけやすいでしょう。火星の近くには同じように赤く輝くおうし座の1等星アルデバランがあります。火星はわずかですが、日に日に星座の星に対して位置を変えていくので、アルデバランと比較してみよう

8日には、下弦を過ぎ細くなった月が土星の近くに見えます。月は更に細くなりながら、11日にはおうし座の「スバル」(M45:プレアデス星団)の近くに、12日は火星の左側に見えます。

観察対象



